

大原社会問題研究所五十年史

Ⅴ 戦後

高野岩三郎伝の編集始まる

一九六三(昭和三八)年四月五日、恒例の高野岩三郎先生追憶会が法大・総長会議室において開かれた。席上、大内兵衛理事より、大原研究所創立いらいの指導者・経営者たる高野博士の伝記を作成しようではないかと提案があり、満場一致で直ちにその編集を始めることが決議された。その具体策として、伝記編集世話人会をつくること、編集費のため寄附をつのること等がきまった。

その後、高野岩三郎伝編集世話人会が森戸、久留間、大内、笠(信太郎)の各氏によってつくり、伝記執筆には大島研究員が当ることになった。また資料集収に元研究員の木村定氏と河合(永田)利雄職員が協力することになった。編集基金は、大原総一郎(倉敷レーヨン)、前田義徳(日本放送協会)、栗田確也諸氏の寄附によってつくられた。

このような準備ののち、資料集収と聴取り作業がすすめられた。長谷川如是閑、野上弥生子、飯島幡司、三宅晴輝、暉峻義等、山名義鶴、原田みよ、小林勇、井上良二、銭村辰巳氏ほか多数の人びとが追憶談や資料提供でこの事業に協力された(なお伝記の出版は五年後の一九六八年に実現をみた)。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)